

令和 5 年度 (2023 年度)
学校推薦型選抜 (商業科等) 問題

小 論 文

国際商経学部 (経済学コース・経営学コース)

注意事項

1. 試験監督者の指示があるまで、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は表紙のほかに 2 ページあります。
3. 問題は「問題 1」と「問題 2」の 2 題あります。
4. 解答用紙は 4 枚あります。
5. 各解答用紙には氏名および受験番号の記入欄があります。試験監督者の指示に従い、すべての記入欄 (氏名、受験番号いずれも 4 箇所ずつ) に記入してください。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入してください。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字は 1 マスに 1 字ずつ記入してください。たとえば、数字の 10 は 2 マスを使って記入してください。
9. 解答用紙の裏面には記入しないでください。
10. 下書き用紙は 4 枚あります。
11. 解答時間は 120 分です。
12. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

問題 1. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

インターネットは東西冷戦終結後、経済のグローバル化とともに成長した。1990年代に数百万人だった利用者は約 50 億人に増え、今や国際的な公共財である。しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻をきっかけに、誰もが自由に情報を発信できるネットの存在意義が問い直されている。国境を超える情報インフラが分断の危機に直面したためだ。

世界をつなぐ機能が壊され、細切れになる状況は①「スプリンター（破片）ネット」と呼ばれる。強権的な国家が情報統制の手段として、国内の通信網を外国から切り離すこと自体は珍しくない。ロシアには、有事の際に国外からの情報を遮断する法律がある。情報統制を強める中国では、米国のネット交流サービス（SNS）の多くが使えない。

今回問われたのは、国際社会がロシアをサイバー空間から締め出すかどうかだった。ネットの技術開発などを主導する国際組織「インターネットソサエティ」のアンドリュー・サリバン会長は「紛争下の国民にとって、ネットは世界の動きを知る手段である。（通信を遮断すれば）偽情報は流布されなくなるが、真実も届かなくなる」と指摘する。国民が自由に情報インフラにアクセスし事実を知ることが、民主社会を維持する上で欠かせない。問題は、進化したデジタル技術が悪用され、情報の真偽が見極めにくくなっている点にある。

インターネットの発展期には、世界が通信回線でつながれば、自由や人権といった価値観が共有されるはずだ、との期待があった。だが、現状は副作用が目立つ。ウクライナのゼレンスキー大統領が自軍に降伏を呼びかける偽動画が拡散されたように、人工知能（AI）を利用したディープフェイクは巧妙さを増している。偽情報は偏見を生み、対立をあおる。

SNS や検索サービスの利用に対しては、同じような考えの人ばかりと交わり、偏った情報に接した結果、視野が狭くなるといった弊害も指摘される。サイバー空間は使い方次第で平和の守り手にも破壊者にもなる。自由な情報発信を尊重する国や地域が協調し、インターネットの健全性を保つ仕組みの構築に知恵を絞らなければならない。

（出典：『毎日新聞』社説「ネット世界の分断 つながる価値を守りたい」（2022年8月20日東京朝刊）より抜粋・一部修正）

<用語> 情報インフラ=情報の流通や処理などを根本で支える社会的基盤、

ディープフェイク=あたかも本物のように見せかけて相手をだますフェイクニュースや偽動画のこと

問1. 下線部①はどのような状態を指すか。本文中の言葉を用いて説明しなさい。

問2. 本文では、世界が通信回線でつながることで、近年どのような副作用と弊害が生じていると言っていますか？ 副作用と弊害のそれぞれについて説明しなさい。

問3. インターネットによって世界が通信回線でつながれることによるメリット、デメリットは何だと思えますか。自分自身の経験など具体例をあげながらあなたの考えを述べなさい。（500字以内）

問題 2. 次の英文を読んで、後の問いに日本語で解答しなさい。

Japan has pledged to achieve carbon neutrality, which obliges the country to reduce emissions of greenhouse gases to net zero, by 2050. Sumiko Takeuchi, an expert on energy and environmental issues, welcomes the move but points out that energy reforms will bring drastic changes to society that will include pain and burdens.

What will it take to realize a decarbonized society? Actually, the most of what are called greenhouse gases is the carbon dioxide discharged into the atmosphere when fossil fuels are burned. Therefore, “The climate change problem is not an environmental problem — it’s an energy issue, and it’s an economic problem,” Takeuchi said. About one-fourth of the amount of energy consumed in Japan takes the form of electricity, but the remainder is obtained directly from the burning of fossil fuels such as gasoline and heavy oil. As electricity can be generated without discharging carbon dioxide if it is made from nuclear or renewable energy sources such as sunlight and wind, the promotion of electrification is widely believed to be the path to decarbonization.

However, the problems the world now faces are wide-ranging. Some people argue that climate change measures should have utmost priority, but Takeuchi does not agree with this view. That is because it can fail to take national and regional characteristics into consideration, leading discussions to deviate from reality. Such a way of thinking demonstrates a lack of tolerance for giving breathing room to countries that have more difficult conditions, such as developing countries that are experiencing difficulty in satisfying their demand for energy. “I think it’s important to discuss the climate change issue as one of the SDGs and seek solutions while trying to strike the right balance” among the 17 goals, Takeuchi said. “If a policy or initiative deviates from reality, you can’t call it sustainable.”

出典 “Climate policy and SDGs inseparable: expert Takeuchi” *Sustainable Japan by The Japan Times*, May 31, 2021. (一部抜粋・変更)

注 decarbonized society 脱炭素社会, carbon dioxide 二酸化炭素, fossil fuels 化石燃料, remainder 残り, heavy oil 重油, utmost 最高の, electrification 電化, tolerance 寛容さ, deviate 逸脱する

問1. 日本で脱炭素社会を実現するためには、どのような理由で何が必要と述べているか、本文の内容に沿って 200 字以内でまとめなさい。

問 2. 下線部の意見に Takeuchi (竹内) が同意しない理由について説明をし、あなたの意見を 500 字以内で述べなさい。